

《長崎県》

は さ み や き
【波佐見焼】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

慶長4年（1599年）頃から、波佐見町村木の畑ノ原、古皿屋、山似田の3か所に連房式階段状登窯を築き、やきものづくりを始めました。これが波佐見焼の始まりで、今から約400年前のことでした。

17世紀には美しい青磁せいじが焼かれていましたが、18世紀以降は庶民の身近な暮らしに役立つことを誇りとして、手頃な価格の良質な「やきもの」をつくり続けてきました。

そして、現代の暮らしと食文化に調和した波佐見焼は、様々なニーズに応じた一般家庭用食器から伝統的で華麗な工芸品、モダンなデザインのギフト用品まで幅広く生産されています。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
中尾山 桜陶祭	毎年4月最初の土日	波佐見町陶郷中尾山一帯	0956-85-2111（波佐見町・商工振興課）
波佐見陶器まつり	4月29日～5月5日	波佐見町やきもの公園一帯	

《長崎県》

みかわちやき
【三川内焼】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

三川内焼は、「繊細優美」の一言で表現され、慶長3年（1598年）の開窯以来、朝廷や将軍家への献上品が多く、日用品から室内装飾品にいたるまで常に高級感がある「やきもの」づくりに専念してきました。

「透彫り」の技法や、松の木の下で無心に蝶とたわむれる唐子たちを描いた図柄「唐子絵（からこえ）」などは独自のものです。

現在作られている製品は高級食器類が中心で、その他香炉、花瓶などもあり、海外にもファンが多くいます。昭和53年、国の伝統的工芸品に指定されました。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
はまぜん祭り	5月1日 ～5日	三川内山一帯	0956-30-8311（三川内陶磁器工業協同組合）
みかわち陶器市	10月～ 11月頃	三川内焼伝統産業会館前 特設野外会場	http://www.mikawachi-utsuwa.net/